

公益社団法人日本地球惑星科学連合
2020 年度第4回理事会議事録

1. 開催日時 2020 年 12 月 1 日(月)

2. 開催場所 Zoom によるオンライン会議

3. 出席者 理事数 20 名
出席理事 20 名 (定足数 11 名 会議成立)

4. 議長 理事 田近 英一

5. 出席役員

理事 田近 英一
理事 川幡 穂高
理事 ウォリス サイモン
理事 小口 千明
理事 高橋 幸弘
理事 道林 克禎
理事 日比谷 紀之
理事 河宮 未知生
理事 浜野 洋三
理事 阿部 なつ江
理事 沖 大幹
理事 奥村 晃史
理事 掛川 武
理事 木村 学
理事 中村 昭子
理事 西 弘嗣
理事 成瀬 元
理事 村山 泰啓
理事 吉田 尚弘
監事 加藤 照之
監事 鈴木 善和
監事 春山 成子

6. 出席オブザーバー

大気水圏科学セクションバイスプレジデント	佐藤 薫
大気水圏科学セクションバイスプレジデント	東塚 知己
地球人間圏科学セクションプレジデント	鈴木 康弘
地球人間圏科学セクション幹事	長谷川 直子
固体地球科学セクションプレジデント	田中 聡
固体地球科学セクションバイスプレジデント	沖野 郷子
固体地球科学セクションバイスプレジデント/プログラム委員長	片山 郁夫
地球生命科学セクション幹事	生形 貴男
学協会長会議議長	渡辺 俊樹
大会運営委員長	和田 浩二
事務局長	末廣 潔

午前 9 時 30 分、定数に達したので田近英一会長が開会を宣した。インターネット会議システム ZOOM を利用し、参加者全員が審議に参加できることを確認した。

7. 審議事項

第 1 号議案 新入会員承認の件

定款第 8 条 2 項の会員の入会の定めに従い、新規入会者の入会を審議した。これを承認した。

第 2 号議案 新規委員承認の件

各委員会からの案に基づき、委員就任を審議した。推薦の通り承認した。

第 3 号議案 フェロー審査委員会委員長選任の件

フェロー審査委員会および委員長を審議した。推薦の通り承認した。

第 4 号議案 西田賞審査委員会委員長選任の件

西田賞審査委員会および委員長を審議した。推薦の通り承認した。

第 5 号議案 防災教育小委員会設置の件

阿部理事より、教育検討委員会への防災教育小委員会の設置が提案され、審議した。小委員会の設置を承認した。小委員会規則は今後理事会に提出し審議する。

第 6 号議案 SDGsタスクフォース設置の件

高橋理事より、SDGs推進タスクフォースの設置が提案され、審議した。主な目的として、以下の3点を想定している。

1.連合や学術活動とSDGsの関係を整理し可視化する、2.日本有数の規模の学術団体としてSDGsの精神に沿った活動を発展させ、JpGU 会員に浸透させる、3. 地球惑星科学に直接関わっていない企業からの大口の支援を得ることを目指す

17の目標、169のターゲットに加え、アジェンダ 2030を参照して活動方針を検討するのがよい、という意見があった。また ESGについても参照するとよい、という意見があった。

審議の結果、設置を承認した。委員についてはセクション等からも推薦を受け、また専門分野家の研究者に依頼する。

第 7 号議案 代議員選挙規則改訂の件

代議員選挙規則第 8 条の改訂を審議した。これを承認した。

同様にセクションプレジデント選挙規則第 9 条の改訂を審議した。これを承認した。

第 8 号議案 テレワーク勤務規則設置の件

テレワーク勤務規則の設置を審議した。これを承認した。来年度(2020年4月)より施行する。

第 9 号議案 事務局員(常勤)就業規則改訂の件

事務局員(常勤)就業規則第 2 条に第 2 項としてテレワーク勤務に関する項目を追加することを検討した。これを承認した。

第 10 号議案 事務局員(非常勤)就業規則改訂の件

西理事より、第 10 号議案は取り下げとする旨報告があった。

第 11 号議案 特別寄附受け入れの件

特別寄附金の申し出があり、審議した。用途が大会時の保育ルーム設置であるが、大会が現地開催されない場合に翌年へ繰り越せるかどうか等、財務上の確認が必要であるとの意見があり、継続審議とした。

なお、小口理事より、用途指定寄附の手続きをより簡便にしてほしいという意見があったことが報告された。

第 12 号議案 その他

日比谷理事より緊急動議があり、前会長規則(内規)の設置について審議をした。これを承認した。本内規の設置に基づき、田近会長より川幡穂高理事を前会長職に就任することを審議した。これを承認した。

日比谷理事より緊急動議があり、日本学術会議主催学術フォーラム「地球惑星科学の国際学術組織の活動と日本の貢献」からの共催申請について審査した。これを承認した。

3. 報告事項

1. 田近 英一代表理事職務報告

田近代表理事より、理事会での職務報告について、委員会主担当のある理事の報告事項は基本的に設けることとするとの報告があった。

内閣府による立ち入り検査について報告があった。指摘事項は少なく概ね問題は無かった。収支相償について連続して黒字決算とならないようにという指摘、会計処理規則で定められた各会計責任者の任命を文章で明記するようにという指摘、会長の職務代理権限規定の設置の必要性について指摘があった旨が報告された。

日本学術会議第25期推薦会員任命拒否に関する緊急声明について報告があった。前回理事会で承認後幹事学会に連絡し、当日中には発出された。

橘広報普及担当理事に代わり、11月発行予定だったJGLの発行が遅れている旨、報告があった。

2. 川幡 穂高理事(ジャーナル担当)職務報告

川幡理事よりジャーナルの投稿・編集・出版状況について、順調に活動を進めているとの報告があった。

3. ウォリス理事(グローバル戦略担当)職務報告

ウォリス理事よりグローバル戦略委員会の活動報告があった。CGUとのMOUを締結した。今後オンラインでの記念イベントも計画しているとの報告があった。

4. 小口 千明理(ダイバーシティ担当)職務報告

ダイバーシティ推進委員会の活動報告があった。委員会を開催し担当を決め、様々な活動を行っている。なかで、人材マッチングの仕組みについての検討が中断しているが、他の委員会等でも関連して希望があれば情報を共有してほしいという依頼があった。

JpGU2021での委員会セッションの準備状況、EDIロゴ導入に関する議論について報告があった。

5. 道林 克禎理事(広報・大会展示担当)職務報告

2021年大会の展示企画準備について報告があった。展示については、オンラインのみを予定している。展示カテゴリーを2つに分けることを予定している。またオンライン出展であるため、ブースの位置を先着順とする必要があったこと、またシステムの改修を行うことを考慮し、1月末ないし2月に展覧者募集を開始する。出展者募集について周知の協力をしてほしいとの依頼があった。

6. 日比谷 紀之理事(総務担当)職務報告

前回の理事会以降に承認した共催・協賛等について報告があった。

7. 河宮 未知生理事(財務担当)職務報告

特定寄附受け入れについて準備状況の報告があった。外部業者のシステムの利用を予定している。

2020 年度決算の見通しについて報告があった。案の通り決算予想として内閣府に報告する。

8. 浜野 洋三理事(大会運営担当)職務報告

浜野理事に代わり和田大会運営委員長より 2021 年大会の準備報告があった。概要、日程について報告があった。5 月 30 日(日)～6 月 1 日(火)を現地開催、6 月 3 日(木)～6 月 6 日(日)をオンライン開催として予定している。万一現地開催を中止する場合は、6 月 2 日(水)～6 月 6 日(日)にオンライン開催とすると発表済であるが、5 月 30 日(日)～6 月 1 日(火)に予定していた現地開催セッションはそのままの日程でオンライン開催するほうが参加者にとって利便性がよいのではという意見もあり、そのように修正することも検討している。

投稿料と大会参加登録料の案が示された。オンライン参加登録料と現地参加一日(日付指定)券、現地参加全日券を設定する。現地参加券は現地発表者への優先販売期間を設ける。その後、発表者以外にも現地参加登録の販売を開始する。現地参加は完全事前登録制とする。

現地開催の準備状況について報告があった。現地ポスターセッション開催の希望をアンケート調査したところ、採択された 223 セッションのうち、134 セッションから回答があり、そのうち 73 セッションが現地開催を希望するとの回答があった。現地開催を予定している、イベント、パブリックセッション、ユニオンセッション等が紹介された。

オンライン発表について、zoom 管理者の手配、オンラインポスターのプラットフォームを検討している旨、報告があった。またオンラインでの雑談が可能になるような仕組みを検討している。

今後のスケジュールについても報告があった。年内に料金や使用プラットフォームを決定し、投稿受付が開始となる 1 月 13 日(水)までに投稿・登録システムの改修を完了する。4 月 20 日頃までを早期現地参加登録販売期間とし、その動向を考慮に入れて現地開催の有無を確定する。

料金体系案について、早期投稿料が 7000 円であるのは高額に感じるとの意見があった。1 日あたりの参加登録料の他の国際学会との比較も重要であるとの意見があった。現地集会人数をおさえるため現地参加登録料は高めに設定するほうがよいとの意見がある一方、現地開催ができなくなった場合でも収入に与える影響が大きくないように低価格にするべきとの意見もあった。

大会の概要については理事会として承認し、微細な修正や詳細については大会運営委員会に一任する。

9. 教育検討委員会活動報告

阿部理事より、教育検討委員会の活動報告があった。日本学術会議地球惑星科学委員会人材育成分科会により初等中等教育に関する提言が発出され、その提言を実現するために同分科会と連携して活動することも予定している。

議長は以上をもって、すべての議事を終了した旨を述べ、閉会を宣した。(午後 12 時 30 分)

以上の議事の要領及び結果を明確にするため、本議事録を作成し、出席理事は次に記名・押印する。(捺印欄配布時省略)

2020 年 12 月 1 日

公益社団法人日本地球惑星科学連合 第4回理事会

出席理事	田近	英一	印
出席理事	川幡	穂高	印
出席理事	ウォリス	サイモン	印
出席理事	小口	千明	印
出席理事	道林	克禎	印
出席理事	高橋	幸弘	印
出席理事	日比谷	紀之	印
出席理事	河宮	未知生	印
出席理事	阿部	なつ江	印
出席理事	沖	大幹	印
出席理事	奥村	晃史	印
出席理事	掛川	武	印

出席理事	浜野	洋三	印
出席理事	木村	学	印
出席理事	中村	昭子	印
出席理事	西	弘嗣	印
出席理事	村山	泰啓	印
出席理事	吉田	尚弘	印
出席監事	加藤	照之	印
出席監事	鈴木	善和	印
出席監事	春山	成子	印